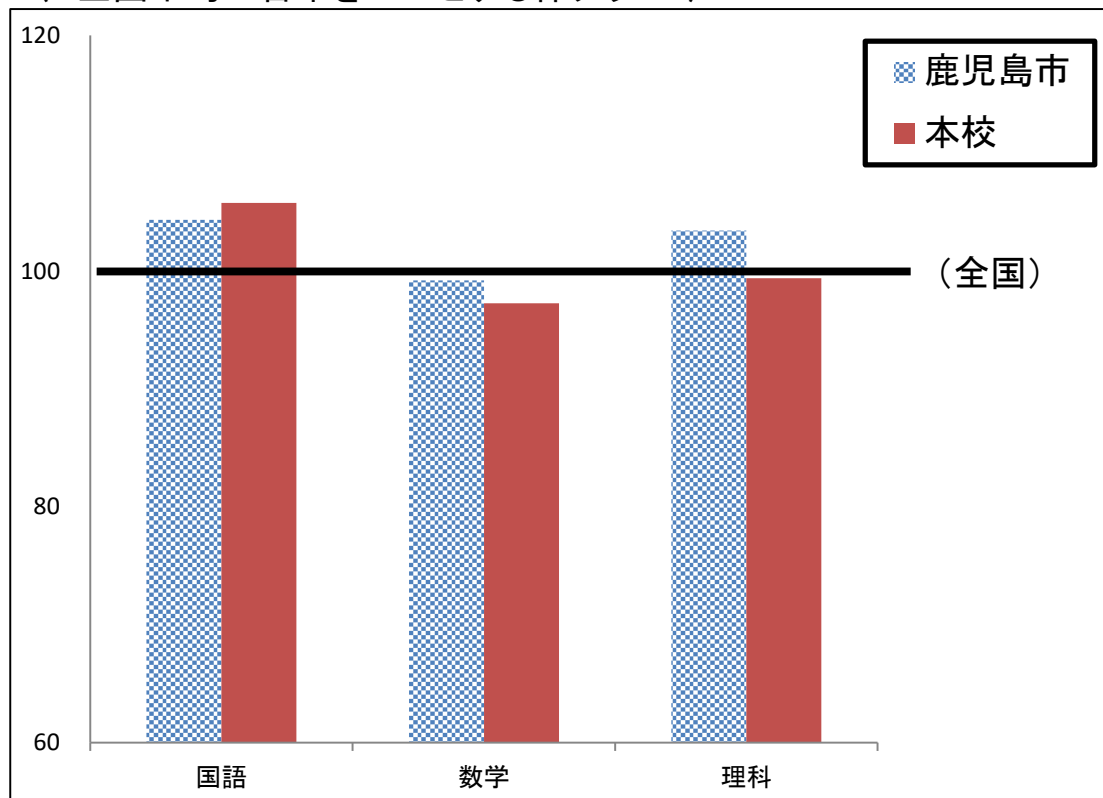


令和4年度全国学力・学習状況調査結果について

鹿児島市立武中学校

1 自校・市・全国の平均正答率の比較

〈 全国平均正答率を100とする棒グラフ 〉



2 自校の課題に対する改善策

〈国語〉

すべての項目で全国を上回っており、書くことの正答率が高い。その反面、読解力を問う、読むことの正答率が伸びていないので、2学期以降、何を問われているのか、問いにどう答えるのかという点に丁寧に取り組んでいきたい。

〈数学〉

基礎的基本的な計算問題の正答率が高いが、数学的な表現を用いて説明することに課題がある。自分の言葉で簡単に説明したり周囲の人の説明を聞いたりする活動によって力をつけていきたい。

〈理科〉

学習した基本的な内容は理解できている。学んだことを生かして身近な生活の中での利用や現象について科学的に推論したり説明したりすることに課題が見られる。身近な生活の場面に関連付けて考えるなどの指導の工夫に取り組みたい。

〈生徒質問紙〉

「人の役に立つ人間になりたい」「学校に行くのは楽しい」「友達と協力するのは楽しい」と答える割合が、県・全国を大きく上回っている。一方で、「ゲームや動画視聴」の時間が県を上回り、「平日や土日の学習時間」が全国・県よりかなり少ない。メディア娯楽の時間が多く、家庭学習を計画的に進めることができていないと推察される。メディア管理については、学校で計画的・継続的に指導し、さらに保護者と連携しながら家庭生活の見直しにも取り組むことが必要と感じる。家庭学習時間を増やすことについては、まず授業とリンクした宿題の出し方を検討し、タブレットの活用も進めていきたい。